

2024 年度 関私教協 第 2 回幹事校会議事録

1. 日時：2024 年 5 月 27 日（月）18:30～20:00

2. 形態：オンライン会議

3. 出席者：

【幹事】高瀬 幸恵（桜美林大学・事務局長）、岡田 佳子（芝浦工業大学・事務局次長）、
山下 暁子（青山学院大学）、黒住 早紀子（駒澤大学）、
青木 研作（東京成徳大学）、河野 誠哉（東京女子大学）、
黒沢 学（東京電機大学）、木之下 健一、須藤 和代（目白大学）、
白石 一徳（文化学園大学）、斎藤 遼太郎（茨城キリスト教大学）、
北村 篤司、横澤田 朋美（昭和音楽大学）、小澤 真紀（芝浦工業大学）、
福山 多江子、古橋 真紀子（東京成徳短期大学）

【事務担当】岩井 瑞恵（桜美林大学）

【オブザーバー】大室 さおり、山口 賢（芝浦工業大学）、黒岩 友見子（桜美林大学）

4. 2024 年度第 1 回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第 1 回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

5. 2024 年度関私教協定期総会議事録の確認

高瀬事務局長より、2024 年度関私教協定期総会議事録（案）が示され、これを承認した。

6. 協議

【報告事項】

（1）2024 年度定期総会、合同研究大会について

高瀬事務局長より、定期総会が成立し、すべての議案が承認された旨について報告があった。
また、合同研究大会については 215 名の参加があった。

（2）『会報』第 95 号・第 96 号の編集について

北村広報部長より、『会報』第 95 号は無事に校了し、6 月 1 日の発行に向けてスケジュール通り進んでいる旨の報告があった。96 号については、合同研究大会の記録を東教協に 6 月末までに提出する必要があることから、部分的に早めにスケジュールを組んで進めることとする。

（3）全私教協 2024 年度定時社員総会・第 43 回研究大会について

高瀬事務局長より、全私教協定時社員総会および研究大会について資料に基づき報告があった。総会では決算および予算について質問があったものの、すべての議案が承認された。

今年度の研究交流集会は 11 月 16 日に九州共立大学にて実施されること、2025 年度定時社員総会担当地区は、九州・四国地方であることについて情報提供があった。

関東地区が担当した第二分科会については参加者 53 名であった。

（4）全私教協理事会報告について

高瀬事務局長より、資料に基づき報告があった。2025 年度秋の研究交流集会の担当は関東地区であることが確認された。なお、2026 年 5 月の定時社員総会の担当は関東地区とされていたが、連続での担当は負担が大きいため、見直すこととしたとのこと。

【審議事項】

（1）2024 年度活動費について

事務局より、活動費の支払いや執行方法について説明があった。その内容について承認

した。

(2) 2024 年度臨時総会・研究部総会・第 1 回研究部会について

高瀬事務局長より、資料に基づき説明があった。

臨時総会について、プログラム案の確認がなされ、司会等の担当を決定した。議長団については候補者に予め依頼しておくこととした。

くじ引きの候補となる大学については、教職課程に在籍する学生数や取得可能免許の数などほかに勘案すべき事項が挙げられ、これについて改めて検討したが、やはり線引きが難しいため、「2000 年以降、会長校や他協会の会長校等を担当していない大学で、学士課程（通学課程のみ）の収容定員 5,000 名以上の規模の大学」とすることを承認した。次回の幹事校会でくじ引きの具体的な方法を確定することとした。

研究部総会では、1 部会につき 2～3 分間ほどの活動紹介を世話人が行う。第 1 回研究部会では部会のメンバーの確認と研究計画について相談する。この度初めて世話人となる幹事については、前幹事と連絡を取りながら進め方を確認する。第 1 回研究部会はハイフレックス形式で行うため、世話人は原則として対面出席とする。対面出席が困難な場合は事前に相談をすること。

幹事校会は 12:00～12:30 に原則対面出席で行う。対面出席が困難な場合は事前に相談すること。

情報交換会は 17:00～18:30 の実施とする。

幹事より、部会の構成について再検討を希望する意見があることが伝えられた。進め方も含めて今後の検討課題とする。

【配付資料】

資料 1：『会報』第 96 号編集スケジュール案

資料 2：2024 年度全私教協定時社員総会、研究大会参加報告

資料 3：全私教協理事会報告（2023 年度第 5 回、2024 年度臨時理事会、第 1 回理事会）

資料 4－1：2024 年度関私教協（会計）出納簿【記入例】

資料 4－2：関私教協研究部、広報部、研究部会、地域協議会（部会等）での研究等に必要とする書籍の購入について

資料 5：2024 年度臨時総会・研究部総会・第 1 回研究部会について

以上